

ほっとニュース

第24号

ようやく梅雨明けし、夏本番を迎えました。今年はクールビズなるものが流行？し、上着を脱ぎ捨てた涼やかなサラリーマンも目立ちますが、それでもやっぱり夏は暑いですね。真上から太陽の光を浴びると頭から溶けてしまいそうになりますが、夏ならではの楽しみもありますよね。スイカにかき氷、冷えたビール……。あれっ、食べ物ばかり??太陽の灼熱パワーを自らの力に変えて、この夏を乗り切っていきたいものです。

昨今、悪質リフォーム問題もあってにわかに成年後見制度がクローズアップされてきたなかで、PASネットでは6月25日に第2回ネットワーク会議を開催いたしました。「成年後見制度を使いこなそう!!」の表題のもとに各専門職の方々にお集まりいただき、意見交換を行いました。新たなメンバーも加わり、さらなるネットワークの広がりを実感することのできる会議となりました。また今年度より毎月定例で行っている成年後見等事例検討会もはや3回目を迎え、後見制度や後見活動等に関する現場の声や最新の情報を聞くことのできる場として定着しつつあります。このふたつの会議について下記にご報告いたします。

1、 第2回ネットワーク会議

ネットワーク会議は日頃 PAS ネット関連で権利擁護支援を実践している弁護士、司法書士、社会福祉士、支援者を中心とする専門職が集まり、意見交換等を行いながら連携を深めていこうという趣旨の会議であり、6月25日（土）に尼崎市立すこやかプラザにてその第2回目が行われました。梅雨のはざまの暑い日でしたが、23名の方々がお集まりくださいました。

第1部はあらかじめネットワーク会員の皆様におとりしていた後見制度についてのアンケートをもとに、自己紹介を兼ねてご意見をうかがいました。近い将来後見人として活躍されるであろう方々から後見活動に関する質問や不安の声が多く挙がりましたが、既に後見活動をされている先輩方から実際的な状況の説明や助言があったり、あるいは後見人としての立場の苦悩のお話があったりなど、後見活動についておのおのが抱えている思いを語っていただきました。

そして第2部は課題検討として「複数後見のあり方」と題し、複数後見の経験談をうかがったり、権限分掌についての意見交換等を行いました。親族との複数後見、専門職同士の複数後見について実際的な事例も多く披露され、参考になることも多かったのではない

かと思えます。

第2回ネットワーク会議の議事録については別に載せておりますので、またご覧下さい。

第3回ネットワーク会議は9月17日（日）13：30より西宮市総合福祉センターにて開催を予定しております。休日ではございますが、ネットワーク会員の皆様におかれましては万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようよろしくお願いいたします。

2、 権利擁護事例検討会の報告とお知らせ

6月は「身上監護と自立生活支援」～権利侵害へのアプローチ～をテーマに、ふたつの事例を検討しました。

ひとつめは「施設ケアの現場に対する疑問と後見人の立場について」ということで、後見人の身上監護は事実行為を伴わないという考え方では実際の支援は難しいこと、支援者間の意見の調整や後見人としての判断の難しさなど後見活動の状況が報告されました。特に支援者間の意識のズレについては活発な意見交換がなされました。

ふたつめは今まさに進行中の虐待事例の報告でした。「虐待案件における行政の役割と支援体制について」ということで、行政や病院、警察、金融機関等を含めトータルな虐待対応の手法が確立されていないこと、加えてその消極的な態度など数々の問題が指摘され、本人の安全の確保すら困難な現状が報告されました。

事例検討会は毎回テーマに沿った事例をもとに各方面から検討を重ね、また情報を交換する場ありますので、なるべく多くの方のご参加をいただき、様々なご意見やご提案をいただけたらと思います。また、この会で取り上げてほしいテーマや困難な事例等がありましたら、ご遠慮なくお申し出ください。

PASネット定例事例検討会（成年後見関係）の今後の予定

- ・ 7月26日（火）18：30～
 テーマ「任意後見制度の現状について」
- ・ 8月23日（火）18：30～
 テーマ「生活支援と身上監護」
 ～福祉サービスと後見業務のすみわけ～
- ・ 9月27日（火）18：30～
 テーマ「財産管理と日常金銭管理」

場所は西宮市総合福祉センター内です。

（PASネットの会員・支援会員であれば誰でも参加できますし、また当日でも会員登録できます。）